令和２年１月２７日
港湾空港局物流振興課

北九州港においてＬＮＧのコンテナ輸出トライアルを実施

本日、北九州港において、一度の出荷量としては“国内で最大”となるＬＮＧ（液化天然ガス）のコンテナ輸出トライアルが実施されました。

■背景

ＬＮＧは、他の化石燃料（石油・石炭）と比べ、燃焼時の二酸化炭素の排出量が少なく、硫黄酸化物やばい煙が発生しないクリーンエネルギーとして注目されています。

中国では、環境対策として石油・石炭からＬＮＧへの転換が進んでいますが、パイプラインが整備されていない地域（内陸部等）もあり、これらの地域へ容易にＬＮＧを供給できる専用タンクコンテナでの輸送需要が高まっています。

■トライアル概要

ひびきＬＮＧ基地において、専用タンクコンテナ１５本にＬＮＧを充填し、最寄りにある北九州港・ひびきコンテナターミナルにて一時貯蔵後、同コンテナターミナルより中国上海港に向けて輸出しました。なお、一度の出荷量としては国内で最大規模となります。

◇実 施 者：西部ガス株式会社　　◇実 施 日：令和２年１月２７日
◇仕 出 港：北九州港ひびきコンテナターミナル　◇仕 向 港：中国上海港
◇貨 物 量：専用タンクコンテナ１５本（３０ＴＥＵ）

■今後について

西部ガス株式会社は、今後、専用タンクコンテナを利用したＬＮＧ出荷事業の事業化及び事業拡大を図られる予定です。

本市としましては、同計画に最大限協力するとともに、北九州港・ひびきコンテナターミナルの活性化を目指してまいります。

充填の様子（ひびき LNG 基地）

輸出の様子（ひびきコンテナターミナル）

【問い合わせ先】
港湾空港局物流振興課
電話：093-321-5941（担当：日比野、加藤）